

未来を担う子どもたちを、 健やかにはぐくむために。

—— 教育推進会議

地域の子供の教育は地域で考えませんか！
次代を担う子供たちの教育を支えませんか！

プログラムの背景

子どもを取り巻く環境が大きく変化の中で家庭や地域の教育力が低下しています。学校、家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育を支える仕組みを構築する必要があります。

手法

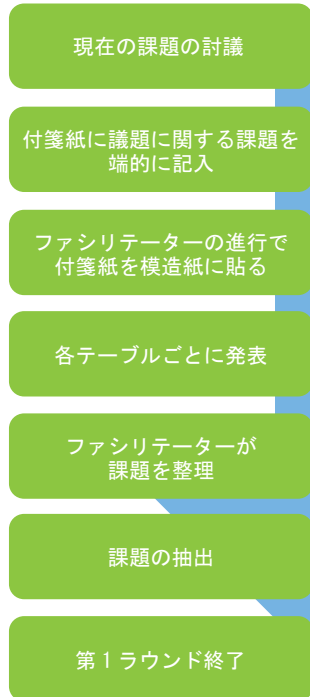
本会議を希望されるブロック協議会もしくは、LOMの担当者と協議し、都道府県並びに市町村の教育関係団体を調査しブロック・LOMに対し関係構築の支援を行い、今回の目的をより強固にするために文部科学省の後援のもと、熟議という手法を用い、地域の実情に応じ地域とJCが自主的に行う学校・家庭・地域の連携協力のための様々な取組（コミュニティースクール等）を支援し、公教育の向上にむけて問題解決に向けての会議を開催いたします。

目的

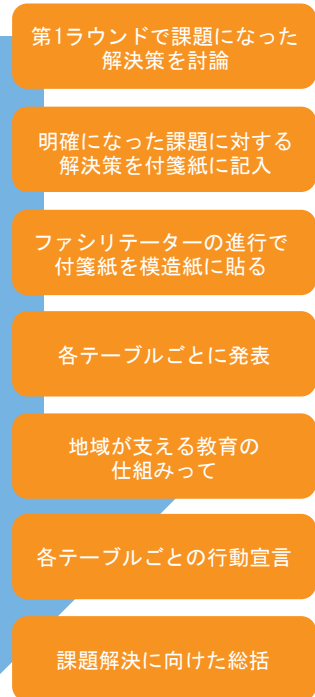
公教育向上の実現です。そのためにも学校・先生、地域や教育委員会、JC(地域の大人・親)、PTAなどがそれぞれの立場だけで考えるのではなくともにつながり、情報を共有していくことで、地域に開かれた学校をつくっていくことが必要です。だからこそ、このような熟議の手法（運動）を活用して、まずは地域における教育関係者、教育関係団体のそれぞれの立場を理解していくことからはじめ、最終的には「教育」を地域が支えるようになることが目的です。（地域支援本部、コミュニティースクールなどありますが、形にこだわらず、地域に開かれた学校になれば成果です。）その具体的な手法を実際に運動していくとともに、熟議という手法を通してJC、地域が学校運営に協力できる仕組みを推進していきます。

プログラムの流れ

第1ラウンド



第2ラウンド



実施までの流れ

